

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

報告日 令和7年11月10日

P T A名		静岡県立浜北特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	288人				

1. 使用状況

寄贈物品名	ロックミシン
使用学年及び人数	高等部作業学習縫製班 19人
使用頻度	週2回程度
使用状況	高等部縫製班の作業学習で週2回1時間程度使用している。縫製班では、主に製品の布の端処理に使用している。
物品の使用による変化や効果	高等部縫製班では、トートバックや敷物、名刺入れ袱紗などの製品を作成し、作業製品販売会で保護者や地域の方々へ販売している。ロックミシンを使うことで、布の端処理が容易になり製品の質の向上につながり、生徒たちの充実感につながっている。
今後の活用の見通しや課題	ロックミシンを活用することで、布端の処理がとてもきれいになり、製品の質が向上した。そのため新たな製品に挑戦したいと考える生徒が多く見られるようになった。更なる教材研究を重ね、生徒が自分で作りたい、お客様に買ってもらいたいと思える製品作りを継続していきたい。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



ロックミシンを活用することで、布端の処理が容易になりました。



ロックミシンで布端の処理をすることで、製品の質が向上し、生徒の充実感につながりました。

トートバック

